

2019年8月2日
日本船主協会 海事人材部

東京海洋大学 海洋工学部オープンキャンパスに協力

日本船主協会では、2008年7月に人材確保タスクフォースを結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を展開しております。

2019年7月26日(金)に、東京海洋大学海洋工学部（越中島キャンパス）においてオープンキャンパスが開催され、当協会は広報活動の一環として協力しました。

当協会は、同学部卒業生が多く進んでいる海事クラスタの業界団体として「キャリアコンパス～将来の仕事を見よう～」に協力し、講演と展示ブースでの対応を行いました。

講演会では、一般社団法人 日本船長協会より長田 泰英 船長が、海運産業や船員の仕事の紹介、大学進学後のキャリアプランなどについて講演しました。

講演後は、展示ブースにて来場者との面談コーナーを開設し、長田 船長と当協会の針生 課長代理（一等航海士）が、来場した高校生や保護者からの質問に応えました。「航海士/機関士の業務内容の詳細」や、「船員へのキャリアパス」、「寄港時に立ち寄った場所」、「英語の必要性」、「大学在学中にすべきこと」「乗船中に危険な場面に遭遇したことはあるか」などといった幅広い質問が寄せられました。今回参加した中には、船員を志望しているという高校生も多く、海技者に係る様々な話を真剣に聞く姿が非常に印象的でした。参加者にとって、自身の将来を真剣に考える有意義な情報交換の場となりました。

当協会の人材確保タスクフォースでは、今後も優秀な日本人海技者確保に向け、関連機関と協力して幅広い活動を継続していくこととしています。



講演会会場にて講演を行う長田船長



展示ブースで対応をする長田船長（右）と針生課長代理（左）